

現役の間にキャリア基盤を築きながら、選手として悔いのないチャレンジを

日本初のアスリート向けビジネス教育機関「日本営業大学」が 「兵庫ブルーサンダーズ」と提携。引退後のキャリア支援を開始

一般社団法人S.E.A（代表：中田仁之／所在地：大阪府大阪市）は、アスリートとしての経験・能力をビジネスの世界で活かすためのビジネス教育機関「日本営業大学」を今年5月に開校しました。これまでに元プロ野球選手、元Jリーガーや現役選手ら計14名がアスリート経験を生かしたキャリア形成に向けてビジネスの基礎を学んでいます。この度、日本営業大学は野球・関西独立リーグ「兵庫ブルーサンダーズ」と、選手のキャリアサポートにおける業務提携契約を締結することとなりましたのでご報告いたします。

今後、日本営業大学は同球団と共に、選手の将来を見据えたキャリアサポートに取り組んでまいります。

記者会見概要

【主なサポート内容】

- 所属選手へのビジネス講座の提供
(ビジネスマナー、税会計、ITスキル等)
- 引退後の選手への就職斡旋 ほか

つきましては、右記の通り記者会見を行い、詳細の説明をさせていただきます。

■日 時 : 10月24日 12時～(11時受付開始)

■会 場 : 日本営業大学 大阪本部

〒530-0047 大阪市北区西天満6-2-11TATSUMI梅ヶ枝町ビル306

オンラインでの実施も予定しています。参加ご希望の方は別途ご参加方法をお知らせいたしますので事前にご連絡願います。

■出席者

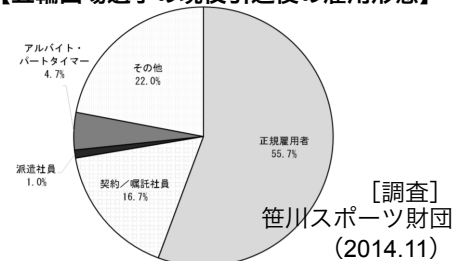
・兵庫ブルーサンダーズ 代表 川崎大介 監督 橋本大祐

・日本営業大学 学長 中田仁之 事務局長 渡辺俊輔

新型コロナウイルスの影響により、現役アスリートを取り巻く環境も一変しました。世界中の大会が中止や規模縮小し、スポンサー企業の業績悪化等も影響し、選手生活の継続を断念する選手も増加が予想されています。プロスポーツ選手の多くは、引退がそのまま失職にダイレクトにつながりますが、その後新たに就職先を確保するのは、各選手の責任となっている現状があります。

元五輪出場選手を対象にした調査(右表)では、現役引退後に非正規雇用の状態で働く元選手が半数近くにのぼり、その平均給与は年収400万円前後という層が最も多く、これは日本の平均年収と同等程度という結果となっています。五輪出場経験のない競技者にとっては、さらに厳しい状況であると予想されます。

【五輪出場選手の現役引退後の雇用形態】



兵庫ブルーサンダーズのコメント

私たちさわかみ関西独立リーグに所属する野球球団・兵庫ブルーサンダーズは、日本プロ野球機構(NPB)への入団を目指す選手が多く在籍しています。選手は20歳前後がほとんどで、これまで野球一筋で頑張ってきています。夢であるNPB入りは狭き門で頑張ってもなかなか入ることのできない世界です。チャレンジして夢をあきらめる時、精一杯野球をやり遂げた後、彼らは次のステージに進まないといけません。社会経験が少ない彼らがこれから必要な知識の習得と、同時に彼らの今までの努力に対する評価をしっかりと自覚してもらいたいと考えています。日本営業大学様との提携は、そんな想いをかなえる企画と信じております。

一般社団法人兵庫ブルーサンダーズ 代表理事 川崎大介

「引退後を見据えたビジネスの基礎を学びたい」「競技以外で収入の柱を作りたい」「アスリート経験を活かして社会に必要とされる人間になりたい」そういった選手のネクストチャレンジへの取り組みを、ぜひ報道の力でより多くの皆さまへ届けるきっかけとしていただけましたら幸いです。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人S.E.A 日本営業大学 広報事務局 (株LITA内) 担当: 小川

Tel : 090-7606-4817 / e-mail : ogawa@lita-pr.com